

## 平成 21 年度植物友の会活動記録

平井健一郎

### はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者の集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和 54 年 10 月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額 2,000 円、家族会員が年額 3,000 円、企業等の賛助会員が年額 5,000 円となっている。10 月 1 日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて（賛助会員は除く）、今年度 10 月以降の入会は 3 人の申込があった。

平成 21 年 12 月現在、会員数は個人会員が 172（△ 8）人、家族会員が 40 組 100（1）人、企業等の賛助会員が 11（△ 1）団体である。（）内は昨年から増減会員数、△：減。

### 活動（表 1・3）

#### （1）例会・運営委員会

2 ヶ月に 1 回、植物公園で開催され、植物に関するスライド（野外観察会報告・山歩クラブ山行報告）や栽培講習、園内観察、種苗交換などを実施した。今年はいずれの例会においても園内植物観察を組み入れ、見所をガイドボランティアでもある運営委員により案内した。講演ばかりではなく、直接園内の見頃となる植栽を観察することができ、参加する会員にも好評であった。

また、毎回例会の開催前後に運営委員会を開催した。昨年度最終の 3 月の総会時の運営委員会において、平成 20 年度の運営委員 7 名のうち 2 名が辞退したため、欠員 1 名と合わせて 3 名の欠員（会則第 10 条＝8 名以内）となった。5 月に開催した平成 21 年度第 1 回運営委員会において、山草部会長後



写真 1. 第 2 回講習会「草木染」（2009 年 8 月 22 日）

任の三宅義信氏と、立候補された大澤俊則氏兩名が参加され、運営委員として承認され、7 名となった。毎例会開催前の同委員会では当日の例会事前打ち合わせを行い、例会後には今後の事業の執行計画や予算、会の運営などについて毎回検討・協議した。

#### （2）講習会（年 2 回）

第 1 回の特別講習会として新田英樹氏を講師として写真教室を行った。昨年まで毎年行ってきたが、相変わらず人気があり、13 名の参加があった。講師の新田氏もパソコンを使った座学の後、実際に現場に出て指導する例年と同様の流れで講習会を進められた。

第 2 回は、会員の藤井かおり氏・白井まり子氏を世話役として、草木染めの講習会を開催した。この草木染め講習会に先立ち 7 月 12 日開催の第 2 回例会において、会員の柴田昌男氏の「ボルネオ探訪」の講演に続いて「事前ミニ講習会」として、参加予定会員に染める布を頒布し、あらかじめ絞り等の細工を施すよう事前に申し込みのあった参加者と集会を開いた。講習会当日（8/22）は 12 名で、草木染めの染料はマリーゴールド（花・葉）と黄花系コスモス（葉）とし、媒染液にミョウバンを使った（写真 1）。制作した布はスカーフとして 9 月の友の会作品展にすべて出品していただき、世話役として参加会員と一緒に制作にあたって頂いた藤井氏より人の型紙を使ってスカーフとして展示会場入り口をいつにも増して華やかに彩った（写真 2）。

#### （3）観察会

年 2 回春と秋に、日帰りで行う。近郊の野山に出かけ、野生の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図った。平成 19 年の秋にマツムシソウなど秋に見頃となる植物観察会を行った庄原市吾妻山において、今年度は春の植物を観察し



写真 2. 友の会作品展に出品された草木染作品（2009 年 9 月 8 日）

表 1. 平成 21 年度植物友の会事業記録

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成 21 年 4月 15日(水) 13時～	例会①等の案内発送	植物公園小会議室	例会①案内 観察会①参加者募集 ㄉ切 5/7(木) 講習会①参加募集 ㄉ切 5/7(木) 運営委員会開催案内 会員証配布 前会員で未加入の方へ再通知送付		職員 1名 会員 4名
5月 4日(日・祝)	講習会ボランティア	大温室前広場	みどりの日記念行事	クラフト教室、活動紹介	会員 6名
5月 8日(金) 9時 30分～12時	山草部会 展示準備	展示資料館 ロビー	山草部会展示物搬入		職員 1名 部会員 10名
5月 9日(土) ～10日(日)	山草部会展示	展示資料館 ロビー	山草部会展示		部会員
5月 10日(日) 13時 20分～15時	例会①	植物公園講堂及び屋外	園内植物観察		職員 2名 会員 64名
11時 30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 4名
5月 23日(土) 10時～12時 13時～15時	講習会①	植物公園講堂及び屋外	「植物友の会写真教室」 講師：新田英樹氏 植物写真の撮影方法		職員 1名、会員 13名
5月 19日(火)	観察会①事前下見	吾妻山 (庄原市)	新緑の吾妻山を散策		中坪孝之氏(広大大学院)、 職員 2名
5月 30日(土)	観察会①				中坪孝之氏(広大大学院) 職員 3名、会員 44名
6月 25日(木) 9時～	はなの輪 119号及び 例会②等の案内発送	植物公園小会議室	はなの輪第 119号 例会②案内 講習会②参加募集 植物友の会作品展出品申し込み案内 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 3名
7月 12日(日) 13時 20分～15時	例会②	植物公園講堂	スライド「ボルネオ探訪」(講師：会員柴田昌男氏)		職員 2名 会員 71名
11時 30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
8月 22日(土) 10時～12時	講習会②	植物公園講堂	「草木染め等のクラフト」 世話人：友の会会員 藤井かおり氏・白井まり子氏 (友の会作品展への出品を促進)		職員 1名、会員 12名
8月 24日(月) 9時～	はなの輪 120号及び 例会③等の案内発送	植物公園小会議室	はなの輪第 120号 例会③案内 観察会②参加者募集 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 3名
9月 7日(月)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入		職員 1名、会員 6名
9月 8日(火)～13日 (日)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		展示監視 会員延 14名
9月 13日(日) 13時 20分～15時	例会③	植物公園講堂	秋の園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 59名
11時 30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について		職員 2名 運営委員 6名
9月 3日(木)	観察会②事前調査	山口県 光市室積峨嵯山 ～周防大島下田八幡宮	社叢林と海浜植物の観察		山口富美夫氏 (広大大学院) 職員 2名
9月 19日(土)	観察会②				山口富美夫氏 (広大大学院) 職員 2名、会員 42名
10月 4日(日) 11月 3日(月・祝)	講習会ボランティア	大温室前広場	秋のグリーンフェア 開園記念日	ハーブの香り袋 クラフト (クリスマスツリー)	会員 5名 会員 5名
10月 28日(水) 9時～	はなの輪 121号及び 例会④等の案内発送	植物公園小会議室	はなの輪 121号 例会④案内 運営委員会案内		職員 1名 会員 3名
11月 8日(日) 13時 20分～15時	例会④	植物公園講堂及び屋外	園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 37名
11時 30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について 平成 22 年度事業計画検討		職員 2名 運営委員 6名
12月 21日(月)	例会⑤等の案内発送	植物公園 管理課事務室	例会⑤案内(年賀状)印刷 運営委員会開催案内		職員 2名
平成 22 年 1月 10日(日) 13時 20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	講演会「海外植物調査」 冬の園芸作業		職員 2名 会員 48名
11時 30分～12時 15時～16時	運営委員会	植物公園小会議室	事業の執行について 平成 21 年度事業報告及び決算書案作成 平成 22 年度事業計画案作成		職員 2名 運営委員 6名
3月 2日(火) 9時～	はなの輪第 122号及 び例会⑥等の案内発送	植物公園小会議室	はなの輪第 122号 例会⑥案内 総会開催案内 運営委員会開催案内		職員 1名 会員 2名
3月 4日(木) 13時～	監査	植物公園講堂	平成 21 年度決算		職員 1名 監事 2名
3月 14日(日) 13時 20分～15時	例会⑥	植物公園講堂及び屋外	総会 春の園芸作業及び園内植物観察		職員 4名 会員 68名
9時～10時	運営委員会	植物公園小会議室	総会提出議案等		職員 2名 運営委員 5名

表 2. 平成 20 年度植物友の会 ボランティア活動報告 (平成 21 年 4 月～ 12 月)

月	主な作業内容	参加人数
4 月	はなの輪・例会案内発送、クラフト準備、サクラソウ展、除草、アジサイ栽培・管理、チョウ観察・調査等	45 名
5 月	植物公園まつり、植物友の会山草部ロビー展示、ハンギングバスケット作成、除草、植え替え、カスケード管理、アジサイ・ハナショウブ管理等	45 名
6 月	ハナショウブ研修除草、グリーンフェア事務局会議、はなの輪・例会通知発送作業、アジサイ挿し木・剪定、カスケード管理・チョウ観察・調査等	34 名
7 月	クラフト教室打ち合わせ・準備除草、アジサイ挿し木・剪定、カスケード管理、チョウ観察・調査	25 名
8 月	どんぐり展展示準備・葉拓画制作・夜間開園キャンドル着火・はなの輪発送作業・除草、植え替え、カスケード管理等	28 名
9 月	夜間開園キャンドル着火友の会作品展展示グリーンフェア会議ハンギングバスケット作成除草、植え替え、カスケード管理等	47 名
10 月	秋のグリーンフェア手伝い、はなの輪・例会案内発送、除草、アジサイ鉢上げ、チョウ観察・調査、カスケード管理等	46 名
11 月	開園記念日友の会コーナー、クラフト講習用、クリスマスツリー準備、クラフト講習、除草、アジサイ鉢上げ、カスケード管理等	38 名
12 月	夜間開園キャンドル着火・クリスマス飾るフラワー展臨時売店・除草、アジサイ鉢上げ、カスケード管理等	23 名
計		331 名

た。春の野外観察の講師は広島大学大学院中坪孝之准教授にお願いした。秋の観察会は、山口准教授に講師をお願いし、観察地は山口県の周防大島と光市峨嵋山の照葉樹林とした。事前調査の段階では、目玉となる植物があるわけでもなく同じ植物が繰り返し出てくるばかりで山口准教授も話の組み立てに頭を悩ませておられたが、終了後のアンケートより、繰り返し出てくることで見分けるポイントや着目すべき特徴を把握することができ、参加者は満足した様子であった。

予算に関して本年度予算書作成時、運営委員から「友の会会計と観察会会計が一緒になっていることが、友の会からの貸し借りの処理がわかりにくくなっているのではないか」と指摘を受けた。そのため、友の会口座から切り離して管理できるよう、新規別口座を作るべく郵便局に問い合わせたところ、新たに口座を開設するには

① 組織名 ② 代表者 ③ 会則

の提出が必要な旨、指摘・指導を受けた。事務局担当職員と友の会運営委員会で協議した結果、「新たに会則を作り新規別口座を作る必要はない」という結論に達し、従来通り友の会会計と同じ口座で管理することとなった。

(4) 展示会

年 1 回秋に、鉢物 (山草部会員等)、写真、クラフト、部会活動 (山歩クラブ会報) などを出品し、友の会作品展として開催している。平成 21 年度は山野草、草木染、写真、工芸作品等幅広く 147 点 26 名の出品があった。

また山草部会においては、5 月の例会に合わせてその前日の土曜日と当日日曜日の両日のみ鉢物を中心にロビー展を開催した。日頃育てている苗を持ち寄り臨時売店も開き、来園者と植物について談笑す

る光景が見られた。

(5) 園内ボランティア

植物公園において、栽培、チョウ・野鳥観察、小学校自然体験教室や講習会の補助・指導、イベントの準備・販売、会誌の発送作業などを実施、幅広く活躍されている (表 2)。みどりの日や秋のグリーンフェアには毎回参加され、クラフト教室・ハーブの香り袋作り教室の指導・販売を行なった。秋のグリーンフェアでの友の会コーナー (写真 3) においては、10 月 4 日のクラフト教室とハーブの香り袋制作は友の会の収入として材料代を 100 又は 300 円徴収した。今まで無料で取り組んできたイベントだったため、当初参加費を徴収することに対して参加者が少なくなるのではないかと、との懸念があったが、サンプルを見た来園者は興味を示したようで、多くの参加となった。11 月 3 日の開園記念日は、雨天のため来園者自体も伸びず参加が少なかったため途中で切り上げた。何れのイベントにおいても、既製品を買い求めるのではなく、自分で制作する方の人気が高かった。

年間 6 回以上管理ボランティア活動に参加している会員に管理ボランティア登録証を発行し、登録証提示により、駐車料・入園料免除等の特典を付帯している。年度初めの授与後、受け取りが無いことから転居や死去が判明した 2 名を除く 15 名が平成 21 年度管理ボランティアとして登録され、活動していただいた (写真 4)。

(6) 会誌の発行

会員が撮影した写真を用いた表紙に、植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年 4 回発行、会員に配布している。新入会員には前年度一年度分 4 冊と当年度分の会誌のバックナンバーを贈呈した。



写真3. 秋のグリーンフェア友の会クラフトコーナー(2009年10月4日)



写真4. 管理ボランティアの鉢上げ作業(2009年12月15日)

## (7) 部会

山歩クラブと山草部会がある。

前者は、毎月1回例会として近郊の山に出かけ、年1回県外遠征、総会、懇親会を行い、年4回の会報を発行している。会費は年額3,000円である。山歩きがしたいから、と山歩クラブに参会すべく植物友の会へ入会している会員も多い。県外遠征では北アルプス等健脚向き山行も行っている。後者は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回例会を開いている。会費は年額1,000円である。栽培・育成した苗物の販売等臨時売店も展示会や例会で開いている。

## (8) 友の花壇

園芸作業の講習を実際に体験でき、会員相互の交流が進み、友の会が魅力ある組織となっていくことを目的として、展示資料館横の花壇を平成17年度より友の会が管理することとなっている。

藤井氏からは、放任状態ではびこっているヒメツルソバ、ヒルザキツキミソウを除去し、花壇西側を早春に咲くクリスマスローズと秋に咲くハイシマカンギクを作っていく旨を承り、今後整備していく予定である。

## 主な課題と今後の方向

### ○野外観察会の観察地と適切な参加費の処理

観察地の選定には毎年労を要している。特に今年度秋の観察地を決定するのに非常に時間を要し、計画的とは言えなかった。山口准教授と当園事務局が事前調査した際も、「わざわざ山口まで来なくても観察できる植物ばかりだ」等指摘を受けた。観察地の選定に際して以下の留意点が挙げられる。

- ① 目玉となる植物や植生があり、その見頃の時期とする
- ② 日帰り可能な範囲
- ③ 大型バス(45名乗り)が通行できる

④ 観察路が広く、一列縦隊に長くならず解説が聞き取りやすい

⑤ 高齢者が多いため健脚向きではなく、比較的容易な観察コースで、トイレがあること

⑥ 参加費を3500円までとし、あまり負担が大きくなるならない

以上の点を踏まえて観察地を探すと、既に57回行っている県内では限られてくる。運営委員会でもこの窮状を議題として挙げた際、「春行った観察地であっても、時季を変えた秋に行ってみてはどうか」等の提案・指摘を頂いた。過去の観察会を見返すと、現地集合した回もあったようなので(第26回:太田川河川敷、第33回:三段峡、第39回:水谷峡、第41回宮島など)、貸切大型バスの移動にこだわらず、過去の観察地を今一度見返すことが必要である。また、候補地の早めの選定・事前調査することで、講師の先生にもテキスト作成や資料収集の時間的余裕があるよう、配慮すべきである。

参加費や友の会予算書での取り扱いについては、口座開設を断念したため、明瞭な観察会収支報告を作成し、適切な予算処理が求められる。特に今年度収支報告作成で留意した点を以下に挙げる。

- ① 参加者保険料等事前の友の会からの借入金については参加費から速やかに返済する
- ② 事前調査代(テキスト作成代等を含む)まで参加費から徴収すると高額(事務局としては参加費は3500円までとしたい)となるため、友の会から観察会へ補助する
- ③ 申込み後のキャンセルについては、2日前から半額、当日は全額、支払請求する。(平成17年度総会議決議)

以上の点に留意し、野外観察会の迅速・明快な予算処理を進めることで、会計報告で混乱無く、より適切な報告が可能となる。